

医療関係者（従事者）の結核健診に QFT（クオンティフェロン[®] TB ゴールド）検査を お勧めします

- 入職時健診
- 職員定期健診

医療関係者（医療従事者）

医療専門職に限らず各種実習学生、医療補助者、事務職員、給食関係職員、院内店員など医療施設で業務に携わるすべての職種を含む

（日本結核病学会予防委員会 平成 22 年 3 月「医療施設内結核感染対策について」より）



- 日本における医療従事者、特に看護職の結核発病リスクは報告の年代、対象、算出方法に違いがあるが、同年代の女性に対して罹患は 3 ~ 4 倍程度高い。¹⁾
- また結核菌を取り扱う臨床検査技師では看護師より更に高い相対危険度であると推定される。²⁾

医療従事者における接触者健診への IGRA* の適用²⁾

- 1 「新規採用職員に対して、採用時点（ベースライン）の結核感染歴の有無を把握するために IGRA の実施が推奨されている」
- 2 「既に勤務している職員に対しても IGRA を実施してベースラインの検査結果を記録しておくこと、結核院内感染が疑われる事例が発生した場合に新たな感染の有無を判断する際に極めて有用な情報となる」

* IGRA：インターフェロン- γ 遊離試験（interferon-gamma release assay）（日本結核病学会予防委員会 平成 26 年「インターフェロン γ 遊離試験使用指針」より）

参考資料

- 1) 日本結核病学会予防委員会・治療委員会「潜在性結核感染症治療指針」平成 25 年 3 月 p503 より引用
- 2) 厚生労働省インフルエンザ等新興再興感染症研究事業「結核の革新的な診断・治療及び対策の強化に関する研究」「結核院内（施設内）感染対策の手引き 平成 26 年版」より引用

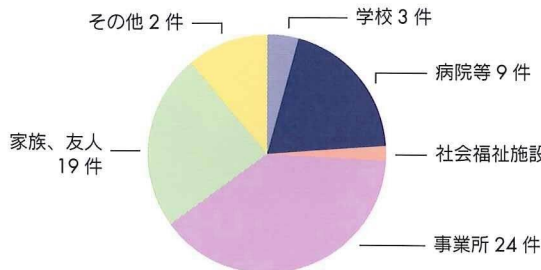
インターフェロン- γ 遊離試験キット
クオンティフェロン[®] TB ゴールド

保険適用 体外診断用医薬品
製造販売承認番号：22100AMI00003000



医療施設では実際に結核集団感染はどれくらい起きているのでしょうか？

平成 24 年の結核集団感染件数³⁾



病院等（病院・診療所・（介護）老人保健施設）・
社会福祉施設（生活保護施設・養護老人ホーム・
身体障害者更生施設など）

平成 24 年の医療施設における結核集団感染事例⁴⁾

1月	精神病院（神奈川県）	確定例 14名・LTBI 15名
1月	病院、社会福祉施設（青森県青森市）*	確定例 1名・LTBI 15名・経過観察 23名
2月	医療機関（東京都）	確定例 19名・LTBI 54名・経過観察 7名
3月	家族、病院（沖縄県）	確定例 4名・LTBI 8名・経過観察 8名
3月	医療機関（長崎県）	確定例 3名・LTBI 13名
3月	精神病院（茨城県）	確定例 5名・LTBI 15名
4月	医療機関（香川県）	確定例 8名・LTBI 24名・経過観察 38名
5月	精神科病院（大阪府）	確定例 6名・LTBI 11名
6月	医療機関（宮崎県）	確定例 3名・LTBI 9名

LTBI = 潜在性結核感染症：結核を発病していないが、結核菌が感染していることを強く疑う場合に、結核発病の可能性が高いため治療が必要なことがあり、これを潜在性結核感染症と呼ぶ。

（厚生労働省『平成 26 年結核登録者情報調査年報集計結果（概況）』より引用：<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou03/14.html>）

* 上記円グラフでは「病院等」にカウントされています。

参考資料

- 3) 「厚生労働省健康局結核感染症課調べ「結核集団感染の件数について（過去 10 年間）（平成 25 年 8 月 14 日現在）」より作成
http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou03/dl/renraku.pdf
- 4) 厚生労働省健康局結核感染症課 事務連絡 平成 25 年 8 月 14 日「結核集団感染事例一覧について」より引用
http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou03/dl/renraku.pdf

検査要項

検査コード	検査項目	材料	検体量	容器	保存条件	所要日数	検査方法	基準値	診療報酬区分番号	保険点数	保険収載名称
9891	クオンテイエロン (3G TB IFN-γ)	全血	6.0 mL	QFT	2～8℃	3～11日	ELISA 法	陰性	D015-25	630	結核菌特異的インターフェロン-γ産生能

※結核菌特異的インターフェロン-γ産生能は、診察又は画像診断等により結核感染が強く疑われる患者を対象として測定した場合のみ算定できる。
※九州、沖縄地区の所要日数は 4～11 日です。

Trademarks: QIAGEN® (QIAGEN Group). 本文に記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。2017 年 01 月作成 © 2017 QIAGEN, all rights reserved.



【お問い合わせ先】
株式会社 キアゲン カスタマーサポート
〒104-0054 | 東京都中央区勝どき 3-13-1 | Forefront Tower II
Tel:03-6890-7300 | Fax:03-5547-0818

【選任製造販売業者】
株式会社 キアゲン
〒104-0054 | 東京都中央区勝どき 3-13-1 | Forefront Tower II

